

(取組1) みんなで支えあう子育て環境の充実



R4.4「子育てセンターにじいろ」開園（天竜厚生会）
 【待機児童数の推移】

令和4年度に向けて、**山梨幼稚園及び若葉幼稚園を認定こども園に移行するとともに、袋井南保育所、袋井南幼稚園、及び高南幼稚園の公立3園を統合・民営化した「子育てセンターにじいろ」が開園。**

利用定員を大幅に拡大し、**3年連続、待機児童ゼロ**を達成！

年月	H31. 4	R2. 4	R3. 4	R4. 4	R5. 4	R6. 4
待機児童数	58人	33人	2人	0人	0人	0人

<保育のデジタル化>

国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、①午睡中のうつぶせ寝による事故防止センサーの導入、②連絡帳やおたよりのデジタル化を実施。

園での子どもたちの活動や興味関心を知ることができて、子どもたちとのコミュニケーションが増えたと**67%**の保護者が実感。

基本機能① 体の向きを自動で記録
 体の向き：仰向け/うつ伏せ/右向き/左向きの4方向
 記録の時間間隔：5分、10分、15分、30分

午睡センサー 午睡チェックアプリ
 自動で記録 + 先生チェック
 ※先生によるチェックは必須です。

ふくろい子育てハンドブック 「はなさき」が完成



子どもの誕生から就学期から18歳までの子育てに必要な情報を一元的に掲載

(取組2) 未来に輝く若者の育成

学校プールのあり方 × 市営プールの活用
 課題解決に向けた実証事業(指定管理者:室内温水プール/専門人材)

学校プールが抱える3つの課題
 (1)施設の老朽化に伴う維持管理コストの増大
 (2)プール稼働率の減少による子どもの泳力維持
 (3)熱中症、日焼け、落雷等の危険性

2022.6.13@月見の里学遊館

官民連携 新しい連携のあり方

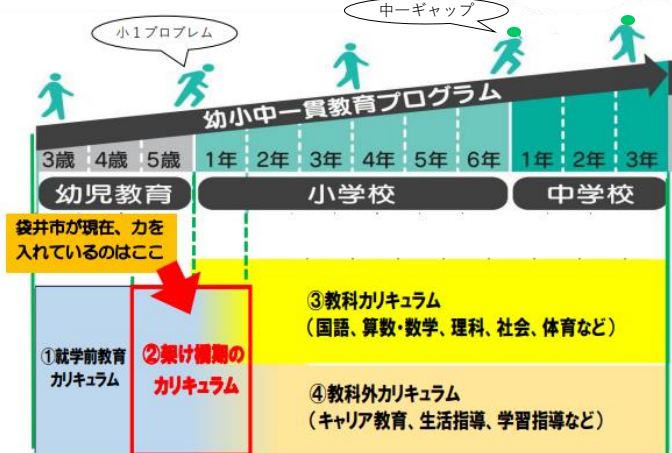
<地域資源のフル活用>

学校プールの老朽化に伴い、一部小学校では市営プールでの授業を導入。

財政的なメリットに加え、インストラクターの指導による効果的な授業実施や水質や設備の安全性、熱中症リスクの軽減などを実現。

<幼小中一貫教育>

市では、平成29年度から幼小中一貫教育に取り組んでおり、現在は、幼小の円滑な連携・接続のため、「架け橋期のカリキュラム」に注力。



袋井市立浅羽中学校 新校舎完成



新校舎のコンセプトは「多様な森と共生する思い出の学び舎」。「森」のように、子どもたちを包み込み、それぞれの居場所を創出することで、豊かな感性と郷土愛を育み、思い出を受け継いでいく。